

令和7年度 第3回学校運営協議会・学校関係者評価委員会【報告】

令和7年8月21日（木）、本校において第3回学校運営協議会・学校関係者評価委員会を開催しました。当日は委員、PTA役員、本校教職員が参加し、児童の学習活動の報告や今後の行事予定の確認、さらに「児童が自分で考え、自分で行動する力を育てるために地域・家庭・学校はどのような関わりができるか」をテーマにミニ熟議を行いました。

【児童の様子（宿泊学習の報告）】

7月8日・9日、JA茨城教育センターにおいて、2年生から6年生までが参加する宿泊学習を実施しました。

活動は、お米の食べ比べやおにぎり作り、トマトジャム作り、魚釣りゲームなど多彩な内容で、初めての体験を楽しむ子どもたちの姿が見られました。少人数ならではの異学年交流も活発で、上級生が下級生を自然に支える様子が印象的でした。なお、この施設を学校単位で利用するのは本校が初めてであり、手厚いサポートを受けながら充実した学びの機会となりました。

【9月以降の主な行事予定】

- ・ 9月14日 枝川自治会敬老会（2・3年生参加）
- ・ 10月22日 市教育委員会計画訪問に伴う地域住民向け授業公開（午後1時30分～）
- ・ 11月1日 第50回全校音楽発表会
- ・ 11月14日 第4回学校運営協議会
- ・ 12月 職場見学・体験（日帰り）、アイススケート体験教室（笠松運動公園）

【ミニ熟議「児童の主体性を育てるために」】

KPT法（Keep：続けたいこと／Problem：課題／Try：取り組みたいこと）を用い、2グループに分かれて協議しました。

● Keep（続けたいこと）

- ・ 運動会や宿泊学習などで子どもの意見を取り入れる取組
- ・ 卒業生による行事のサポートや地域との連携

● Problem（課題）

- ・ 大人が先にやってしまい、子どもが考える機会が少ない
- ・ インターネットで調べて「わかったつもり」で終わってしまうことがある
- ・ 基盤となる体験の不足から、企画や話合いがまとまりにくい

● Try（新しい取組）

- ・ 子どもに任せる場面を増やし、失敗も経験させる
- ・ 敬老会など地域行事に子どもの意見を反映させる
- ・ 体験活動を重視し、地域人材との交流を広げる
- ・ 大人が手本となる挨拶や態度を日常的に示す

今回の話合いを通じ、「子どもが自分で考え、行動し、決める場面を多く設定すること」が共通認識として確認されました。



【その他】

地域からの要望により、通学路の横断歩道の白線が引き直される見込みであることが報告されました。